



「心豊かにたくましく輝く子どもを育む」

校長 小寺 恵理子

3月22日(金)には第41回卒業式を行い、6年生56名の子供たちが本校を巣立っていきました。4年ぶりに来賓の皆様にもご臨席いただき、本町小学校が様々な立場の皆様に支えられていることに感謝の気持ちでいっぱいになりました。卒業生はどの子もしっかりとした態度で卒業証書を受け取り、感謝を伝える呼びかけも大変立派でした。保護者の皆様にも6年間で立派に成長した子供たちの姿を見ていただけて大変嬉しく思いました。



本日41名の新1年生と15名の転入生を迎え、全校児童358名、13学級で令和6年度をスタートいたします。今年度も保護者の皆様、地域の皆様には様々な場面でご支援、ご協力をいただくことと思いますが、どうぞよろしく願いいたします。

本校の児童の実態と社会情勢に合わせて、今年度これまでの学校教育目標を見直し、

- かがやく子←よく考え学ぶ子
- ゆたかな子←仲良く助け合う子
- たくましい子←明るく健康な子

といたしました。また、目指す学校像は昨年度に引き続き「心ゆたかにたくましく、かがやく子供を育てる学校」といたしました。

教育機器も活用しながら個に応じた学びを深め、思いやりの気持ちを持ち、互いの良さを認め合える心豊かな子供を育て、本町小の子供たち一人ひとりがきらきら輝く個性を発揮して人生を切り開いていってほしいと思います。

また、以下の4点について今年度特に力を注いでいきたいと考えております。

- 1 タブレットを学年や発達段階に応じて活用し、個に応じた豊かな学びを深め学力の更なる向上に努める。
- 2 学校行事等を通して児童の活躍の場面を多く作り、何事にも挑戦できる子供を育てる。
- 3 専門性の高い教科では教科担任制の推進を図りつつ、学級担任制と教科担任制のそれぞれのよさを最大限生かし、授業の質の向上を図っていく。
- 4 個を認め合い、尊重することで自分も友達も大切にすることができる心豊かな子を育てる。

子供たち一人ひとりがお互いを認め合い、個性を輝かせられるよう子供たちの多様な思いに寄り添いながら全教職員で指導にあたってまいります。スムーズな中学への連携を意識し、特に高学年において教科担任制をより一層進めてまいります。今年度のご支援ご協力の程、宜しく願いいたします。